

## 01. Sunny Days

※間違いなんて何度もあるものだから  
晴れ渡る空 ほら見て夜が明けていく  
次の休みは気晴らしにでもどこかに出かけよう

夜も更けた午前2時 突然君からの電話  
涙声でどうしたの 今すぐにでも駆けつけるから

君はとても優しいから本当の気持ちを隠す  
※

回り道をして歩く 不器用すぎるの私  
そんなことをポツリ言う  
まじめな君に少し笑えた

バカねそんな事を一人で考えてたの少しは頼ってよ

いつも笑顔でがんばる君を知ってる  
あせることも無い 心配することも無い  
きっと大丈夫 晴れ渡る空 夜が明けていく  
※

## 02. 涙目Super☆Girl

Party Night 夏空を彩る  
一年に一度街中すべてがステージに変わる瞬間  
満天の星たちを引き連れて  
ココロに撃ち込む輝きに TO・RI・KO

あいつも こいつも どいつも  
どーしてカレシ連れなわけ!?  
トモダチ大事にしなさいよ!!

気合入れまくったはずの浴衣  
スルーとかありえない…世の中絶対歪んでる!

いいもん あたし グミと一緒にだもん

Fight!!だよ やる気出していかなきゃ  
もやもやしてないでドカンと一発  
かましちやいなよ Bomb A Love  
大丈夫 やればできる子だよ  
自分を信じて 真っすぐに Ready Go!!

視界の片隅に映る♀(オンナ)の隣の♂(オトコ)が  
「キレイだね」なんて言ってるけど  
それは花火のことであって  
アンタのことじゃないんだから  
絶対…たぶん…そうではないかと…

いいもん あたし 屋台制覇よっ!!

泣いてない…? もしもーし、聞こえます?  
歌がオンチだとか胸がちっちゃいと

気にしたら負けだぞ 大丈夫 今のままでいてね  
完全無欠がイイわけでもないさ

これがあたしの生きる道 ねぎ焼き もう一丁!!

Fight!!だよ やる気出していかなきゃ  
もやもやしてないでドカンと一発  
かましちやいなよ Bomb A Love  
大丈夫 やればできる子だよ  
自分を信じて 真っすぐに

泣いてない…? もしもーし、聞こえます?  
歌がオンチだとか胸がちっちゃいと  
気にしたら負けだぞ  
大丈夫 今のままでいてね  
そんなグミちゃんにぐっみぐみだよ Knockout☆

## 03. 青い境界線へ

触れた追想の日々 鮮やか 蘇る気持ち  
優しい時間の中で 微笑む愛しい仲間たち  
そっと目蓋伏せたら 今でも心は還るよ  
はるかな理想を抱き 足掻いたあの日へ

凧いだ風の行方に 希望を重ねて旅立つ  
燃え染む空を見上げて 激情その瞳に映している  
それぞれの正義には 進むべき道を拓いた  
違えた意志を巡って 激しく火を噴く

どこまでも続いてゆく水平線望み  
飲み込んだ言葉の行方はもう見つからなくて

この想いでこの強さでもっと  
どこまでも行ける気がして  
伸ばした手は永遠には届かなくて  
笑う君を照らす光  
今も目に焼き付いて離れないよ  
哀しみまで連れていって 青い境界線へ

波の歌は遠くでいつもと変わらず囁く  
はかなく散った灯火 今もここで揺蕩っている  
穢れなき魂は 静かな運命に目醒めた  
何度も繰り返される 道理を辿ってゆく

どこまでも途切れることない営み故に  
失った熱量今でも褪せずに煌めいて

この想いでこのチカラでもっと  
どこまでも進めるはずだった  
伸ばした手は日常さえ掴めなくて  
泣いた君の震える肩  
見つめるだけだったあの日は遠く  
零れ落ちた星の欠片 胸に仕舞い込んで

連なる想いでこの願いでずっと  
何度でも君を守り抜く  
伸ばした手に今度こそと心誓う  
笑う君を照らす光  
今も目に焼き付いて離れないよ  
暁まで連れていって 青い境界線へ

青い境界線へ

## 04. かぜのねいろ

果てなき空の歌 運ぶ風の音  
遙か世に伝えられし旋律  
忘れ得ぬ咎の行方 名を刻んで  
ゆるやかな終末へ連れゆく 始まりを誘

※微睡に生きる人よ 無邪気に歌って  
いつか来る目覚めも知らず  
遠き海に想い馳せ  
大空翔ける翼を その身に宿して飛ぶ

儂き世界のことわり故に  
穏やかに受け入れるは必定  
変わらぬ日々は静かに 終わりを告げ  
笑い声も哀しみさえも 波間の泡となる

移ろい消えるすべてを うたかたの夢と  
見上げた空の蒼さから  
知るにはまだ早すぎて  
※

## 05. Les vepres siciliennes (シチリアの晚禱)

シチリアの鐘が鳴る時 運命の歌声が響き始める  
人々の祈りは闇に 溶けてゆきともしび消えゆく

涙落ちて河となり流れ流れ海へとAh…

※歴史は絶えざる悲しみの糸  
絡まりもつれて一つなる  
それでも人は求めてゆく光を

晩鐘は絶えず聞こえて 僕は走る出口無き夜  
言葉途切れ息となり 生命燃やし駆けるただ

心は想いを集める器  
痛みを知らない穢れ無き  
子供の様に手を伸ばす今、未来へ

争い流れた涙に誓う  
苦しみ痛みも刻み込む

※